

研究実施のお知らせ

2024年12月9日 ver.1.1

研究課題名

帝王切開術におけるプレチスモグラフ波形による脊髄くも膜下麻酔後低血圧の予測 後向き観察研究

研究の対象となる方

2023年4月から2024年10月の間に島根大学医学部附属病院で帝王切開術を受けられた方

研究の目的・意義

帝王切開術では脊髄くも膜下麻酔が一般的におこなわれます。この脊髄くも膜下麻酔後に母親の低血圧がしばしば発生することが知られています。この低血圧によって、母親と胎児に悪影響を及ぼす可能性があります。

プレチスモグラフ波形はパルスオキシメーターから非侵襲的に得られる波形です。パルスオキシメーターは手術中に経皮的動脈血酸素飽和度を計測するために装着されています。このプレチスモグラフ波形そのものから得られる数値を利用して、脊髄くも膜下麻酔後低血圧の予測は試みられていますが、結果が一致していません。そこで今回はプレチスモグラフ波形から得られる数値や波形そのものを使用し、機械学習などの手法を利用して、脊髄くも膜下麻酔後の低血圧が予測できるかを検討します。

この研究を通して脊髄くも膜下麻酔後の低血圧の予測が可能となれば、母親と胎児に対する悪影響を防ぐことができるようになるかもしれません。

研究の方法

対象になる方のカルテから以下のデータを収集します。

- 1) 患者背景(年齢、性別、身長、体重、併存症、術前内服薬、ASA-PS、週数、胎児予測体重)
- 2) 手術に関する情報(病名、術式、予定・緊急)
- 3) 麻酔に関する情報(プレチスモグラフ波形、心電図モニター波形、収縮期および拡張期血圧、心拍数、投与薬の種類および投与量、輸液の種類と投与量)

以上の情報を用いて、プレチスモグラフ波形から脊髄くも膜下麻酔後低血圧が予測できるかを調べます。

この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。また、お名前などのリストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

研究の期間

2025年1月19日～2028年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 森 英明

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 森 英明

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2295